

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2025 年
8 月 8 日
第 192 号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会

Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957

honbu@tokyo-jichiroren.org

仲間を増やし、地域とむすぶ 各地の取り組みから ④

第 62 回保育園分会定期大会を開催しました！

文京区職員労働組合保育園分会

6 月 25 日(水)に第 62 回定期大会を行いました。文京区保育園分会では規約により、大会の成立を組合員の半数以上としており、コロナ以前は各園の半数が参加する大きい大会でした。コロナ以降は委任状を用いるなどして成立させており、現在では各園 6～7 人が参加し、各職場の現状や要望を伝える大事な場となっています。

大会は、各園の声を聴き、要求へ

大会の中では、保育情勢や、分会の一年間の経過報告や活動方針の承認の後に、各園意見を発表しています。今年度は 3 園の代表発言があり、医療ケア専門の保育室の設置に向けた改築工事を控えた現状報告。男性保育士が配属されたことによる設備問題や職員数に見合わない更衣室や休憩室に対しての要求などに加え、人員要求によって保育現場の負担軽減につながったことなどの運動の成果を実感できるものもありました。

発表は時間の都合で割愛はしていますが、各園からの現状や要望については資料にまとめ、参加者及び組合員への回覧をして共有しています。

集められた各園要求は、三役の中で答弁をまとめて回答しています。現場の声では共通した要望などもあり、組合としての取り組みや課長交渉につなげていくきっかけともなっています。



25 年度を担うみなさん

ミニ学習会で休暇制度を学ぶ

また大会に合わせミニ学習会を設け、今回は文京区職労の山野井書記長に各種休暇制度について詳しく説明してもらいました。

大会の参加者からは、組合の活動や各園の現状が知れて良かったという声や、ミニ学習会を通して権利の再確認ができたことなどの意見が聞かれ、今後も組合員が力を合わせて運動を進めていく意志統一が図れました。



たくさんの組合員が参加して



2025年度 新人歓迎会を開催しました

足立区職員労働組合保育園分会

4月28日（月）に区役所の厚生室にて新人歓迎会を開催しました。あいにくの雨の中でしたが、新人17人、先輩保育士や執行委員13人、総勢30人が集まり、にぎやかに行うことができました。

和やかにスタート！ 学習も

オープニングは、足立保母つくしんぼサークルの歌や手袋シアターで和やかにスタート。

労金から、組合に入って労金の口座を作るとどんなメリットがあるかの訴え

「組合とは？」の学習では、分会が出来たときからの歴史や、運動で勝ち取ってきた権利などを学びました。



歌う「つくしんぼ」の仲間たち

先輩保育士からは「保育の玉手箱」と称して、日々の保育の中で楽しむ手遊びやクイズ等の実践を披露。

手作りおもちゃのプレゼントを景品に、園名でのビンゴゲームは大盛り上がりでした。自分の勤務先はもちろん、「この園知っている!」「この名前かわいい」等とチームの人たちとおしゃべりしながら選んでいき、園名が当たると「や



盛り上がるビンゴゲーム



参加した新人のみなさん

ったー」とチーム一丸で喜び合っていました。

最後は新人さんたちの自己紹介。この一か月で保育の仕事をして嬉しかったことを話してもらいました。「子どもたちが名前を覚えて呼んでくれたこと」「笑顔で先生と甘えてくれること」など、保育の仕事の中で子どもたちと触れ合って感じた喜びがたくさん話されました。終了後の感想でも、「同期の人たちとの交流が持てて距離が縮まって嬉しかった」「保育の引き出しが作れて今後の保育に役立たせたいです」「温かな先輩方と一緒に楽しい時間を過ごせました」などの声が寄せられました。

3名が組合加入

歓迎会では、3名の新人が組合に加入しました。保育の楽しさを感じている今だからこそ、安心して働ける環境を整えることや、労働条件の向上を目指すことのために労働組合が大切であることが伝わったのではないかと思います。

これから学習会や様々な取り組みに参加してもらいながら、一緒に運動を進めていきたいと思っています。

みんなでパチリ



【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】